



岩手労働局発表
平成26年10月10日

【照会先】
岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 安倍 賢
主任安全専門官 村井 雄亮
(電話) 019-604-3007

平成26年(9月まで)の労働災害発生状況(速報値)

~ 本年9月までの労働災害による死傷者数は、前年同期比5人(0.5%)減少 ~
~ 同死亡者数は、前年同期比9人増加 ~

岩手労働局(局長 弓 信幸)は、平成26年9月までの県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況(速報値)を取りまとめました。

平成26年9月までの死傷者数は前年同期比で5人(0.5%)の減少となっています。しかしながら、死亡者数は21人となっており、前年同期比で9人の増加となっています。

岩手労働局では、労働災害防止団体、経済団体、労働団体と協働して「死亡労働災害防止強化期間(5月~7月)」を設定するなど、県内の労働災害防止に取り組んできたところですが、これから年末年始の慌ただしい時期を迎え、また、寒冷な季節に入って凍結・積雪等の自然要因も加わり、更に労働災害が発生する危険性が高まる状況を踏まえ、「平成26年度いわて年末年始無災害運動」(別添参照)に取り組むなど、労働災害の一層の減少を目指していくこととしています。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

1 死傷災害(休業4日以上) 【表1】【グラフ1】

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は963人(速報値)で、前年同期比で5人(0.5%)の減少となっています。

(2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は増加数が多い順に、製造業208人(前年同期比+15人、7.8%)、建設業200人(同+13人、7.0%)、運輸交通業108人(同+8人、8.0%)、その他の業種108人(同+4人、3.8%)、畜産水産業34人(同+1人、3.0%)、となっています。

前年同期比で減少した業種は減少数が多い順に、商業120人(同-18人、-13.0%)、接客娯楽業41人(同-9人、-18.0%)、通信業24人(同-9人、-27.3%)、保健衛生業65人(同-4人、-5.8%)、農林業50人(同-3人、-5.7%)、貨物取扱業0人(同-2人、-100.0%)、鉱業5人(同-1人、-16.7%)、となっています。

(3) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので209人(21.7%)となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが186人(19.3%)、「はさまれ、巻き込まれ」113人(11.7%)の順となっています。

2 死亡災害 【表2、表3】

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は21人(速報値)で、前年同期比で9人の増加となっています。

(2) 業種別の状況

業種別では建設業が8人と最も多く、その他の業種(その他の廃棄物処理業、ビルメンテナンス業、その他の教育研究業、その他の事業、漁業、各1人)が5人、商業が4人、運輸交通業及び製造業が各2人となっています。

(3) 事故の型別状況

「墜落・転落」が7人、「交通事故(道路)」が5人、「激突され」が3人、「はさまれ、巻き込まれ」が2人、「飛来・落下」、「崩壊・倒壊」、「激突」、「感電」が各1人となっています。

【表1】 平成26年 1月～ 9月 労働災害発生状況（休業4日以上之死傷者数）

岩手労働局

業 種		岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
		26年	25年	増減数	増減率								
製造業	食料品	21	11	10	90.9%		5	7			6	3	
	上記以外の食料品	50 (2)	55	-5	-9.1%	22	2		9	8	2	7	
	繊維・衣服その他繊維製品	8	4	4	100.0%	1			2	4		1	
	木材・木製品、家具・装備品	32 (1)	37 (1)	-5	-13.5%	5	8	2	6	2	3	6	
	パルプ・紙、印刷・製本	7	9	-2	-22.2%				3	4			
	化学工業	8	9 (1)	-1	-11.1%	2		3	2	1			
	窯業土石製品	12	10	2	20.0%		3	2	3	2		2	
	鉄鋼業、非鉄金属	10	8	2	25.0%	3			5	2			
	金属製品	19	15	4	26.7%	2		1	4	10	1	1	
	一般機械器具	11 (1)	10	1	10.0%	1	1	1	8				
	電気機械器具	7	8	-1	-12.5%	1	1		3	1		1	
	輸送用機械製造	6	5	1	20.0%			1	4		1		
	電気・ガス		0	0									
	その他の製造業	17	12	5	41.7%	6			5	3		3	
小計	208 (4)	193 (2)	15	7.8%	43	20	17	54	37	13	24		
鉱業	5	6	-1	-16.7%				2		1	2		
建設業	土木工事	65 (4)	54 (9)	11	20.4%	14	14	5	9	6	13	4	
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	18 (5)	27 (5)	-9	-33.3%	2	2	2	5		4	3
		木造家屋	50	51	-1	-2.0%	15	4	6	6	10	5	4
	その他の建築工事	31 (2)	32	-1	-3.1%	12			11	3		5	
	その他の建設	36 (11)	23	13	56.5%	13	3		3	9	6	2	
小計	200 (22)	187 (14)	13	7.0%	56	23	13	34	28	28	18		
運輸交通業	道路貨物運送業	90 (6)	87 (6)	3	3.4%	38	6	3	27	8	3	5	
	その他の運輸交通業	18	13	5	38.5%	13			4	1			
貨物取扱	貨物取扱		2	-2	-100.0%								
農林業	農業	7 (1)	10	-3	-30.0%	2	1		4				
	林業	43	43	0	0.0%	14	7	3	2	5	5	7	
畜産水産業	畜産業	26	24	2	8.3%	7	1	1	11		2	4	
	水産業	8	9	-1	-11.1%		3	1			3	1	
商業	小売業	88 (14)	108 (8)	-20	-18.5%	41	8	2	19	6	2	10	
	その他の商業	32	30 (6)	2	6.7%	17	2	1	10		1	1	
通信業		24 (11)	33 (19)	-9	-27.3%	7		2	7	7		1	
保健衛生業	社会福祉施設	55 (6)	53 (3)	2	3.8%	12	7	6	18	8		4	
	その他の保健衛生業	10	16	-6	-37.5%	5			2	3			
接客娯楽業	旅館業	12 (1)	19	-7	-36.8%	4	1	1	4	2			
	飲食店	23 (1)	20	3	15.0%	13	1	1	1	5	2		
	その他の接客娯楽業	6 (1)	11	-5	-45.5%	3			2	1			
その他	ビルメンテナンス業	26 (4)	16	10	62.5%	18		2	4	2			
	その他（上記以外の業種）	82 (6)	88 (11)	-6	-6.8%	24	8	4	14	14	8	10	
合計	② 963 (77)	968 (69)	-5	-0.5%	317	88	57	219	127	68	87		
(注) 平成26年9月末の速報値である。						前年同期	323	66	63	231	114	72	99
数字は死亡者数（内数）、（ ）数字は交通労働災害（内数）である。						増減数	-6	22	-6	-12	13	-4	-12
						増減率	-1.9%	33.3%	-9.5%	-5.2%	11.4%	-5.6%	-12.1%

【表2】

平成26年 死亡災害発生状況(9月30日 現在)

岩手労働局

番号	署別	業種	発生 月日	曜 日	性 別	年 齢	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
1	花巻	商業 (新聞販売業)	1月9日	木	女	79	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	新聞配達中に道路を横断していたところ、軽貨物自動車に轢かれた。	
2	釜石	建設業 (トンネル建設工事業)	1月13日	月	男	55	墜落、転落	掘削用機械	ドラグ・ショベルで約1mの高さに積みあがった伐採材の上を走行したところ、ドラグ・ショベルのバランスが崩れ横転しそうになったため、ドラグ・ショベルから飛び降り(転落)、横転したドラグ・ショベルの下敷きになった。	国
3	盛岡	商業 (家具・建具・じゅう器 小売業)	1月18日	土	男	23	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で行中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、バスと正面衝突した。	
4	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	1月25日	土	男	21	はさまれ・ 巻き込まれ	トラック	トラックの後進誘導を行っていたところ、電柱とトラックの間にはさまれた。	
5	宮古	清掃・と畜業 (その他の廃棄物処理業)	1月27日	月	男	62	墜落、転落	トラック	ゴミ収集用のトラックの荷台に労働者が乗ったまま走行中、労働者が荷台から道路に転落した。	
6	盛岡	商業 (その他の小売業)	1月29日	水	男	37	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で行中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、対向車と正面衝突した。	
7	宮古	建設業 (木造家屋建築工事業)	2月8日	土	男	64	墜落、転落	はしご等	新築工事現場において、2階に置いてあった保護帽及び工具袋を取りに行くため、高さ2.7mの脚立を上っていたところ、脚立から転落した。	民間
8	盛岡	清掃・と畜業 (ビルメンテナンス業)	2月11日	火	男	27	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	軽ワゴン車で走行中、圧雪状態でスリップし、対向車と正面衝突した。	
9	盛岡	建設業 (道路建設工事業)	2月27日	木	男	62	激突され	掘削用機械	道路整備工事現場において砂利を敷き均す作業をしていたところ、バックしてきたドラグ・ショベルに轢かれた。	地方公
10	花巻	製造業 (機械(精密機械を除く) 器具製造業)	2月28日	金	男	40	激突され	旋盤	加工材を手で保持して旋盤作業を行っていたところ、保持していた加工材が激突した。	
11	一関	教育・研究業 (その他の教育研究業)	3月12日	水	男	67	墜落、転落	はしご等	ビニールハウスにビニールシートを貼り付ける作業中、高さ3mの三脚脚立から墜落した。	

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
12	盛岡	商業 (燃料小売業)	3月13日	木	男	53	墜落、転落	整地・運搬・積込用機械	トラクターショベルで除雪作業中、トラクターショベルごと用水路に転落しトラクターショベルの下敷きになった。	
13	宮古	建設業 (電気通信工事業)	4月30日	水	男	66	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	自動車で行中、運転を誤り自動車が道路左側の河川に転落し、同乗していた労働者が死亡した。	
14	大船渡	建設業 (その他の土木工事業)	5月8日	木	男	64	はさまれ・巻き込まれ	トラック	ダンプトラックの荷台を上げ整備作業を行っていたところ、ダンプトラックの荷台と車体フレームの間に体をはさまれた。	地方公
15	宮古	その他の事業 (その他)	5月29日	木	男	61	崩壊・倒壊	その他の仮設物、建築物、構築物等	海上(漁港内)のボーリング用檣(やぐら)の足場で労働者3人が測定の作業を行っていたところ、檣が倒壊したため同3人が海に落ち1人が溺死した。	
16	花巻	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業)	7月5日	土	男	62	墜落、転落	足場	型枠の洗浄作業終了後、高さ1.8mの足場から前向きに墜落し、腹部を強打した。	民間
17	盛岡	建設業 (電気通信工事業)	7月31日	木	男	55	感電	電力設備	動力電源のルート変更工事において、配電盤のブレーカー端子を取り換えるため、ケーブルカッターでブレーカーの活線(200V、225A)の切断作業を行っていたところ、感電した。	民間
18	釜石	製造業 (造船業)	8月4日	月	男	59	墜落、転落	作業床、歩み板	船の外周に組み立てられた、わく組足場の解体作業中、高さ7.2mの作業床から墜落した。	
19	花巻	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	8月4日	月	男	43	飛来、落下	クレーン	木材(60×60×670cm、重さ1.8t)をクレーンでつり上げ、トラックに積み込む作業中、つり上げた木材が並べて置いてあった木材に接触し、その木材が崩れ落ちたため、崩れた木材とトラックの荷台に挟まれた。	
20	宮古	建設業 (道路建設工事業)	8月30日	土	男	58	激突	整地・運搬・積込用機械	ブルドーザーで押土作業中、ブルドーザーの運転席から転落し、ブルドーザーの履帯に左側腹部を強打した。	地方公
21	大船渡	畜産・水産業 (漁業)	9月1日	月	男	33	激突され	クレーン等	定置網に錨ロープ(36mm)を取り付けるため巻きロープ(36mm:錨ロープに取り付けた補助ロープ)をキャブスタンで巻き上げる作業中、海中に錨ロープが絡まっていたことから、錨ロープをクレーンで海上までつり上げたところ、巻きロープが切れ、クレーンのフックが激突した。	

【表3】

平成26年死亡労働災害発生状況(業種別等の状況) (9月30日現在)

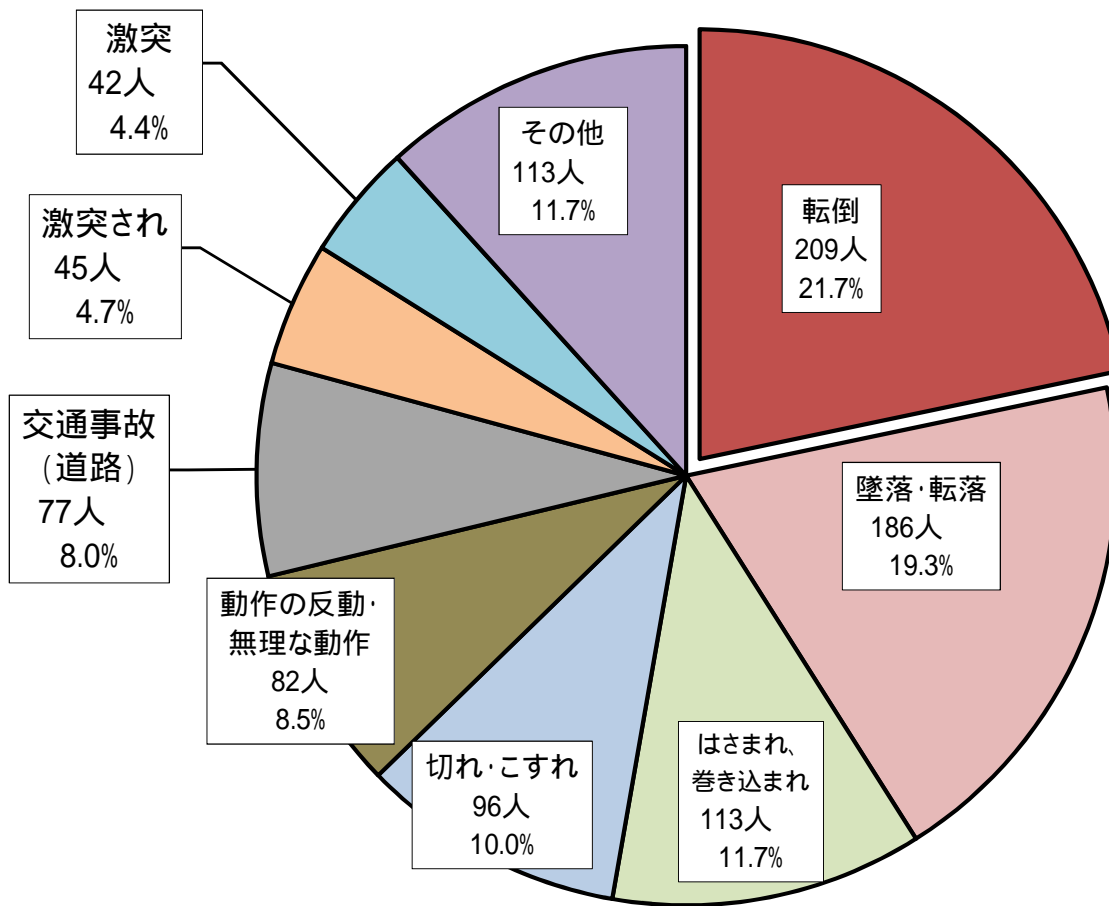
業種別	製造業 2人 (1人)	鉱業 0人 (1人)	建設業 8人 (3人)	運輸業 2人 (0人)	林業 0人 (2人)	商業 4人 (2人)	左記以外 5人 (3人)	21人 (前年同期12人)
	盛岡 7人 (0人)	宮古 5人 (1人)	釜石 2人 (1人)	花巻 4人 (1人)	一関 1人 (3人)	大船渡 2人 (1人)	二戸 0人 (5人)	
事故の型別	墜落・転落 7人 (2人)	転倒 0人 (1人)	飛来・落下 1人 (2人)	崩壊・倒壊 1人 (0人)	激突され 3人 (3人)	はさまれ・巻き込まれ 2人 (2人)	切れ・こすれ 0人 (0人)	
	おぼれ 0人 (0人)	高温の物との接触 0人 (0人)	激突 1人 (0人)	感電 1人 (0人)	破裂 0人 (1人)	交通事故 5人 (1人)	その他 0人 (0人)	

注：()内は前年同期

【グラフ1】

平成26年(1～9月)労働災害発生状況(事故の型別)

岩手労働局



平成26年9月末の速報値である。
数字は死亡者数(内数)である。

平成26年度 いわて年末年始無災害運動実施要綱

1 趣旨

岩手県内における労働災害による死傷者数(休業4日以上)は、平成22年以降4年連続で増加しており、本年においても増加傾向にある。特に、本年の労働災害による死亡者数が大幅に増加している状況を踏まえ、岩手労働局では労働災害防止団体はもとより、経済・労働団体とも協働した「死亡労働災害防止強化期間(5月～7月)」の設定などにより、県内の労働災害防止に取り組んできたところである。しかしながら、依然として県内の労働災害は増加傾向にあり、しかも東日本大震災の復旧・復興工事が本格化している状況において、これから年末年始の慌ただしい時期を迎え、寒冷な季節の凍結、積雪等の自然要因も加わり、労働災害が発生する危険性が高まる状況にある。

特に、本県の場合は、冬季特有の転倒などによる労働災害の死傷者数が、毎年、年間の全死傷者数の1割から2割近くを占めており、冬季期における労働災害防止に一層取り組む必要がある。

このため、「平成26年度いわて年末年始無災害運動」は、労働災害の増加傾向に歯止めをかけ、平成27年には労働災害の大幅減少を達成するための重要な取組と位置付け、準備期間を含めて、各労働災害防止団体が実施する年末年始無災害運動と連動して運動を強力に展開し、もって労働災害の根絶に向けた取組を強力に推進するものとする。

2 実施期間

平成26年12月1日から平成27年1月31日までとする。
(準備期間 平成26年11月1日から11月30日まで)

3 スロ - ガン

「安全・安心・家族の笑顔 願いはひとつ 年末年始も無災害」

4 主唱者

岩手労働局、岩手労働災害防止団体連絡協議会

《岩手労働災害防止団体連絡協議会メンバー》

(公財) 岩手労働基準協会

建設業労働災害防止協会 岩手県支部

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岩手県支部

林業・木材製造業労働災害防止協会 岩手県支部

港湾貨物運送事業労働災害防止協会東北総支部 岩手支部

(一社)日本砕石協会 岩手県支部

(一社)日本ボイラ協会 岩手支部

(公社)ボイラ・クレーン安全協会 岩手事務所

(公財)岩手県予防医学協会

(公社)建設荷役車両安全技術協会 岩手県支部

岩手県陸砂利工業組合

(独法)労働者健康福祉機構 岩手産業保健総合支援センター



5 協賛

岩手県商工会議所連合会
岩手県商工会連合会
岩手県木造家屋等低層住宅建築工事安全対策協議会

6 実施者

各事業場

7 実施事項

(1) 主唱者の実施事項

ア 構成団体各支部等の地区連絡会議の開催等
イ 構成団体各会員への運動周知
ウ 構成団体各会員への労働災害発生状況の提供
エ 協賛団体、国の機関、地方公共団体等への協力要請
オ 報道機関等に対する広報の実施等
カ 安全パトロールの実施等事業場指導の実施
キ リスクアセスメント指針の周知

(2) 各事業場の実施事項

ア 冬季特有災害の防止
 転倒災害の防止
 墜落・転落災害の防止
 車のスリップ事故の防止
 一酸化炭素中毒の防止
イ リスクアセスメントの実施
ウ 労働災害防止団体が実施する年末年始無災害運動の実施

【参考】

平成26年 労働災害発生状況 (平成26年9月末現在)

岩手労働局

業 種		26年計	25年	増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
製造業	水産食料品	21	11	10	90.9%		2	3	2	6	4	3	1				
	上記以外の食料品	50	55	-5	-9.1%	10	12	4	7	3	4	3	5	2			
	繊維・衣服その他繊維製品	8	4	4	100.0%		1		3	1	2		1				
	木材・木製品、家具・装備品	32	37	-5	-13.5%	6	6	4	3	3	1	3	4	2			
	パルプ・紙、印刷・製本	7	9	-2	-22.2%	1	1	1				3	1				
	化学工業	8	9	-1	-11.1%		2	3						3			
	窯業土石製品	12	10	2	20.0%	2	1		5			3			1		
	鉄鋼業、非鉄金属	10	8	2	25.0%	1	2	1	1	1	2	2					
	金属製品	19	15	4	26.7%	1	1		6	2	5	1			3		
	一般機械器具	11	10	1	10.0%	1	5		1	1	1	1			1		
	電気機械器具	7	8	-1	-12.5%	1				1	1			2	2		
	輸送用機械製造	6	5	1	20.0%	1	1	1			1	1	1				
	電気・ガス	0	0	0													
	その他の製造業	17	12	5	41.7%		4		3	2	2		4	2			
小計	208	193	15	7.8%	24	38	17	31	20	26	17	22	13				
鉱業	5	6	-1	-16.7%	2		2					1					
建設業	土木工事	65	54	11	20.4%	9	7	7	7	10	6	4	9	6			
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	18	27	-9	-33.3%		4	3	2	1	1	2	4	1		
		木造家屋	50	51	-1	-2.0%	7	7	11	4	3	7	6	4	1		
		その他の建築工事	31	32	-1	-3.1%	1	2	4	4	7	3	6	3	1		
	その他の建設	36	23	13	56.5%	2	2	3	6	1	8	3	10	1			
小計	200	187	13	7.0%	19	22	28	23	22	25	21	30	10				
運輸交通業	道路貨物運送業	90	87	3	3.4%	14	13	17	8	7	9	10	7	5			
その他の運輸交通業	18	13	5	38.5%	5	5	2	1	1	1	2	1					
貨物取扱	0	2	-2	-100.0%													
農林業	農業	7	10	-3	-30.0%	3	1				1	1	1				
	林業	43	43	0	0.0%	8	3		6	7	3	10	3	3			
畜産水産業	畜産業	26	24	2	8.3%	2	2	3	2	4	2	3	3	5			
	水産業	8	9	-1	-11.1%		2	1	1	1			1	2			
商業	小売業	88	108	-20	-18.5%	20	18	11	8	7	6	10	5	3			
	その他の商業	32	30	2	6.7%	3	3	3	6	4	5	3	3	2			
通信業	24	33	-9	-27.3%	7	5	3	3	1			2	3				
保健衛生業	社会福祉施設	55	53	2	3.8%	5	12	9	4	5	5	8	4	3			
	その他の保健衛生業	10	16	-6	-37.5%	4	2	1	1			1		1			
接客娯楽業	旅館業	12	19	-7	-36.8%	3	2	2	1		1		3				
	飲食店	23	20	3	15.0%	1	6		5	3	4	2	2				
	その他の接客娯楽業	6	11	-5	-45.5%	1	2		1		1	1					
その他	ビルメンテナンス業	26	16	10	62.5%	3	6	1	1	1	1	6	4	3			
	その他(上記以外の業種)	82	88	-6	-6.8%	7	15	10	7	11	12	11	4	5			
合計	963	968	-5	-0.5%	131	157	110	109	94	102	108	97	55				

(注) 平成26年9月末の速報値である。
数字は死亡者数(内数)である。

【参考】